

SensingWave II

いつでも！どこでも！

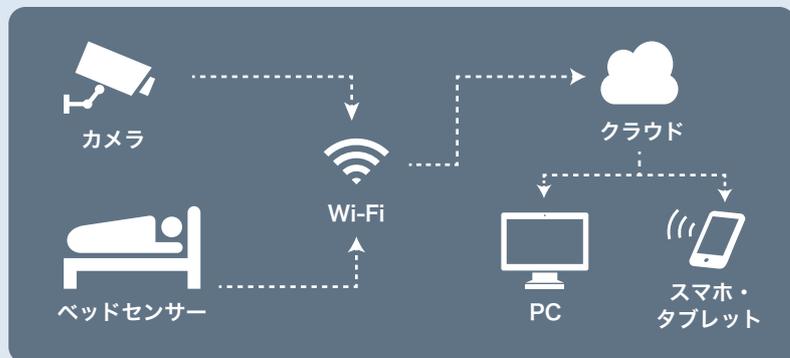
かんたん設置で **24時間** あんしん見守り

介護見守りシステムで業務負荷軽減・ケアの質向上

ベッドマットレス下に設置するセンサーで取得した、
心拍相当数・呼吸相当数・在床のリアルタイム表示はもちろんのこと、素早い離床検知も可能！
また、睡眠を可視化でき、利用者の睡眠傾向も把握できます。

サービス構成

センサー情報はクラウドを介し、PC・タブレット・スマートフォンで確認できます。
すぐにご利用頂けるため、介護施設内、外出先、自宅、いずれからでも確認が可能です。
導入時に必要なものは、インターネットに繋がる端末のみです。 ※Wifi環境がある場合



介護ロボット・ICT 関連補助金対象

取得可能データ



こんなお悩みはありませんか？



利用者の状態を一覧で確認したい

ICT機器を活用して業務効率化したい

カメラ機能で不安を減らしたい

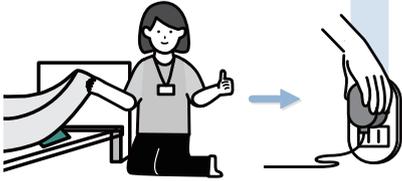
スタッフの業務負荷を軽減したい

そのお悩み、TOPPANが解決します！

特徴と活用事例

下記5つの特徴を活用して、利用者の状態を見える化することで、スタッフの業務負荷改善や提供サービスの質向上につなげることができます。

かんたん設置



マットレスの下にセンサーを置き、電源プラグを差し込むだけで設置完了。

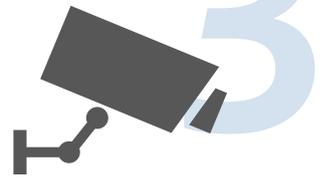
素早い離床お知らせ機能



離床時、平均約3秒で発報が可能。
心拍相当数、呼吸相当数が閾値の範囲外になった場合もお知らせを通知。

※PC・タブレット・スマートフォン
全てお知らせ通知対応

カメラ機能



居室内を画像で確認する事が可能。
お知らせ通知と同時に自動で居室内の画像を表示。また、お知らせ発報時以外でも、居室内の画像を表示させる事が可能。

専用アプリでかんたんチェック



専用アプリで、離れた場所においても利用者さまの状態をかんたんに確認できます。

リアルタイムモニター



睡眠、覚醒、体動など利用者さまのベッド上での状態や、心拍相当数、呼吸相当数といったバイタル情報をリアルタイムで確認可能。

レポート機能



利用者さまの心拍相当数、呼吸相当数、睡眠傾向、睡眠の状態を可視化。

活用事例

新規利用者の生活状況の把握

★Point レポート機能で生活状況の傾向をつかめる！



どのような生活リズムで生活しているのか分からない



昼寝の傾向、夜間は何度が離床する、就寝時間等の生活状況が把握できた

お知らせ通知機能で事故を防止

★Point 利用者へ安心を提供！



ベッドから起きる際に転倒してしまう利用者がある



対象利用者に離床のお知らせ機能を設定することで、離床時に介助することができ、転倒予防へ繋がった

※閲覧画面の仕様は変更する可能性があります

TOPPAN 株式会社

<https://www.toppan.com/ja/>

お問い合わせ

生活・産業事業本部 環境デザイン事業部 まちづくり本部
〒110-8560 東京都台東区台東1丁目5番1号
Mail: sensing.w@toppan.co.jp

HPは
こちらから→



センシングウェブ



TOPPAN 2024.11 K11